



▲カレーライス作りに挑戦

8月26・27日、自然の中での体験を通し、協調性や責任感、連帯感を育てるため「小学生宿泊体験学習」が国立曾爾青少年自然の家で行われ、小学5・6年生82人が参加しました。子どもたちは、シニア・ジュニアリーダー（町子ども会連絡協議会）の指導のもと、地図を見ながら写真の場所を発見するフォトレーリングをしたり、カレーライスを作ったりして、共同生活を楽しみました。

8月
26～

大自然の中協力し合って生活 曾爾高原宿泊体験学習



▲近畿大会出場を果たした選手たち

8月14日、南小学校の児童が所属する田原本南スポーツ少年団の選手が、片倉教育長を表敬訪問し「第37回奈良県少年少女バレーボール大会」のブロンズ優勝を報告しました。訪れた選手たちに、教育長から「近畿大会でも優勝を目指して頑張ってきてください」と激励の言葉が贈られました。そして、選手たちは「力を合わせて頑張ります」と意気込みを語りました。

8月
14

近畿大会出場を決めました 田原本南スポーツ少年団が教育長を表敬訪問



▲小松原委員長を中心に意見交換がなされる

8月28日、「第1回田原本町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会」が開催されました。この委員会は、今後進む人口減少問題に対する施策をまとめる「地方版総合戦略」の策定に向けて調査・審議する目的で設置されました。委員長に小松原尚さん（奈良県立大学教授）が選出され、出席委員からは、田原本町の将来の人口について活発な意見交換がなされました。

8月
28

人口減少問題に対し活発な意見交換 まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会を開催



▲タイヤチューブのいかだで海を進む

8月18・19日に大阪府青少年海洋センターで「スポーツ少年団夏季野外活動」が行われ、スポーツ少年団員の小学6年生43人が参加しました。この活動は、さまざまな海洋活動をおおして、各地区の団員と親睦を図り、心身ともに健康で明るい明日への意欲を養うことをねらいとして実施。団員たちは、センターのリーダーの指導のもと、いかだ作りやカヌー・ヨットで海を楽しみました。

8月
18～

海と親しみながら仲間と親睦を深める スポーツ少年団夏季野外活動

8月
29

奥深い能と狂言の世界を楽しみました

2015フォーラム第2回田原本の能



▲牛若丸と弁慶の激しい戦いが演じられる

8月29日、青垣生涯学習センターで田原本・まちをすきになる会主催の「2015フォーラム第2回田原本の能」が行われました。

舞台では、村屋神社に伝わる「巫女舞」、笑いを基調とした狂言「呼声」(大蔵流)、幽玄の世界を描いた能「橋弁慶」(金春流)が演じられました。

また、金春穂高さんによる能・狂言の歴史に関する講演も行われ、参加者は伝統ある芸能を楽しみました。

8月
29

さまざまな生き物とふれあいました

田んぼの生き物体験ツアー



▲水路に生息する生き物を採集

8月29日、多地区で「田んぼの生き物体験ツアー」が行われました。

これは、地域の田んぼに生息するさまざまな生き物を観察し、生き物とそれを育む田んぼに興味を持ってもらうことを目的としたものです。

参加者は専門家による指導や解説のもと、田んぼや水路に生息している魚や虫、カエルなどを採集したり、観察したりして、地域の自然に親しまいました。

9月
6

みんなの力で町をきれいに

2015クリーンアップならキャンペーン



▲ごみを拾い集める参加者

9月6日、「2015クリーンアップならキャンペーン」が行われました。

この活動は「クリーンなら」を指し県内20コースで美化・清掃活動を行うもので、今年の本町のコースに約400人が参加しました。

参加者は、雨の中、駅前広場から2コースに分かれ、約1時間半かけて空き缶やタバコの吸殻などのごみを拾い集めました。

9月
6

バレーボールを通じて友好を深める

日韓青少年バレーボール親善交流大会



▲日韓の交流を深めた選手たち

9月6日、平野小学校で「日韓青少年バレーボール親善交流大会」が行われ、韓国チーム16人を含め、57人が参加しました。

これは、日韓の青少年バレーボール大会を通じた国際交流です。両国が友好と親善を深め、青少年の健全育成を目的としたものです。

選手たちは試合後、イベントで片言の韓国語を交わしながら、かき氷を食べて楽しく交流しました。